

令和 6 年 1 月 29 日

報道関係者各位

公益財団法人 日本生態系協会
会長 池谷 奉文

「全国学校・園庭ビオトープコンクール 2023」発表大会 取り組み事例の取材のお願い

ネイチャーポジティブの時代を迎え、全国の学校や園にビオトープを設置することが求められています。そうした中、2月4日(日)、「全国学校・園庭ビオトープコンクール 2023」発表大会を、下記のとおり開催します。このイベントは、学校や園庭など子どもたちの身近なところに、いろいろな生きものがすむ「ビオトープ」をつくり活用する全国の先進事例を発信するものです。貴機関において、事例発表を行う上位5賞の受賞校・受賞園の取り組みを取材の上、広く周知いただければ幸いです。

当日取材を希望される方は、1月31日(水)12:00までに、添付の「一般取材 申込書」により、下記担当までファックスかメールにてお申し込みください。お申し込みいただいた方には、取材方法の詳細についてファックスかメールでお送りいたします。

ご協力の程よろしくお願ひいたします。

記

- 1 行 事 名 「全国学校・園庭ビオトープコンクール 2023」発表大会
- 2 開催日時 令和 6 年 2 月 4 日(日)13:00~16:00
- 3 会 場 東京国立博物館 平成館 大講堂(東京都台東区上野公園 13-9)
- 4 主 催 公益財団法人 日本生態系協会
- 5 後 援 文部科学省、環境省、国土交通省、農林水産省、こども家庭庁、ドイツ連邦共和国大使館、全国国公立幼稚園・こども園長会、全日本私立幼稚園連合会、(福)全国社会福祉協議会全国保育協議会、(福)日本保育協会、(公社)全国私立保育連盟、全国小中学校環境教育研究会、(一社)日本保育学会、(公社)こども環境学会、NPO法人全国認定こども園協会、(一社)日本環境教育学会、(公社)日本ナショナル・トラスト協会、日本ビオトープ管理士会

<お問い合わせ先>

(公財)日本生態系協会 担当:加藤、中安
東京都豊島区西池袋 2-30-20 音羽ビル
TEL 03-5951-0244/FAX 03-5951-2974
メール head_office@ecosys.or.jp

「全国学校・園庭ビオトーピングコンクール 2023」発表大会 プログラム

13:00	開会	主催者あいさつ（公財）日本生態系協会 会長 池谷奉文 来賓のごあいさつ	
13:25	表彰式	上位5賞の受賞校・受賞園への賞状授与	↑
13:48	発表	上位5賞の受賞校・受賞園による取り組み発表(各 10 分) ■文部科学大臣賞 福島大学附属中学校（福島県福島市） ■環境大臣賞 社会福祉法人境ひかり会 <small>とみおかにし</small> 登美丘西こども園（大阪府堺市） ■国土交通大臣賞 千葉市立 <small>いなげ</small> 稲毛第二小学校（千葉県千葉市） ■ドイツ大使館賞 学校法人東京内野学園 <small>うちの</small> 東京ゆりかご幼稚園（東京都八王子市） ■日本生態系協会会長賞 大阪市立 <small>うりわりにし</small> 瓜破西小学校（大阪府大阪市）	撮影（ムービー・スチール）が可能な時間 ↓
14:47	講評	高田研氏(元都留文科大学教授)	↓
14:55	受賞校・園との交流		↓
16:00	閉会		

※イベントの進行度合いによって時間は前後します。

上位5賞 受賞校・園の取り組み

子どもたちの身近に自然と共生する「野外の実験室」を！

■文部科学大臣賞

特に体験活動や学習活動の内容・成果で秀でているとして表彰されました。

福島大学附属中学校（福島県）

ビオトープ設置の提案、校内コンテストを通じたデザイン決め、維持管理の体制、授業での活用のあり方など、全てにおいて、学年横断的に生徒が主導し、時間をかけながら、ビオトープをつくり育てています。



■環境大臣賞

特に野生の生きもののすむ「ビオトープ」の質が秀でているとして表彰されました。

（福）堺ひかり会 登美丘西こども園（大阪府堺市）

園児には、グラウンドよりビオトープが必要と、地域の小さな里山づくりをコンセプトに、園庭にビオトープづくりを開始しました。保護者や地域住民を積極的に巻き込み、園児の環境教育の場づくりを展開しています。



■国土交通大臣賞

特に野生の生きもののすむ「ビオトープ」の質が秀でているものが表彰されました。

千葉市立稲毛第二小学校（千葉県千葉市）

海岸地区の埋め立てでできた住宅地の中にありながら、20年以上かけて、地域の自然を創出してきました。今や、ホタルやアカガエル、モクスガニなどが自生し、生物多様性に富み、自然と触れ合う地域の拠点にもなっています。



■ドイツ大使館賞

特にユニークな学習・体験活動を行っているものが表彰されました。

（学）東京内野学園 東京ゆりかご幼稚園（東京都八王子市）

特別緑地保全地区の隣接地に園を設置し、園庭にビオトープを創出しました。隣接する林から、ムササビが訪れたことをきっかけに、ムササビを題材に「環境」や「表現」などの領域での学習活動を積極的に展開しています。



■日本生態系協会会長賞

特に地域とのパートナーシップの観点で秀でているものが表彰されました。

大阪市立瓜破西小学校（大阪府大阪市）

校内の約 1,800 m²に草地を中心とした環境を設け、保護者や地域住民からなる「瓜西ネイチャークラブサポートネット」、企業や大学等からなる「瓜破西小学校 ESD 推進委員会」と連携しながら維持管理や活用を進めています。



